



# とっぱずれ



銚子東ロータリー・クラブ Weekly Bulletin NO. 1885



ひたち海浜公園の秋桜 提供：宮内宗一会員

## クラブフォーラム

第1885回 例会 平成22年11月2日

\*\*\*\*\*

点 鐘 … 杉浦 武会長

国 歌 … 君 が 代

ロータリーソング … 奉 仕 の 理 想

来訪ロータリアン紹介

… 親睦活動・家族委員会

会 長 挨 拶 … 杉浦 武会長

御 祝 披 露 … 杉浦 武会長

誕 生 祝 … なし

結 婚 記 念 日 … なし

入 会 記 念 日 … なし

幹 事 報 告 … 長谷川 弘 幹事

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会

卓 話

「なぜ、ロータリーは職業奉仕を大切にするのか」

地区職業奉仕研修委員 片岡 正勝 氏

出 席 報 告 … 出 席 委 員 会

11月9日(火) 休会 (地区大会に振替の為)

次回のプログラム(平成22年11月16日)

\*\*\*\*\*

卓 話

「未定」 山本 幸男 会員

第5回定例理事役員会 (例会終了後)

お食事「あぐり」



地域を育み、大地をつなぐ

2010~2011年度 RI会長 レイ・クリンギンスミス

(Ray Klinginsmith)

第 1884 回例会(平成 22 年 10 月 26 日)

**会長挨拶**

杉浦 武

先週は 16 名の参加で、親睦家族委員会と職業奉仕委員会の企画による移動例会でした。今年には川津職業奉仕委員長の手配で成田空港見学。一般ではなかなか入ることのできない日本国であって日本国でない空港内、目の前で見るジャンボ機、4000 メートル滑走路、制限区域を NAA (成田国際空港株式会社) 専務執行役員の平山氏の案内で約 1 時間見学をしてきました。制限区域に入るには、身分を明らかにする為、全員免許証の提示かと思いきや、やはりロータリークラブ、代表者の川津会員のみでパスしました。ゲートを入ると輸送用のジャンボ機等が何機もありました。その先には広大な敷地の中に 4000 メートルの滑走路が広まりました。普段空港ロビーから見る景色とはすべて違う別世界でした。滑走路中間地点付近の花時計近でバスを下車し、迫力ある飛行機の離陸を見ました。空港見学を終わりの次の目的地、ココ・ファーム・ワイナリー (栃木県) に向かう間、移動中例会を車中例会と致しました。ココ・ファーム・ワイナリーは、小口会員の紹介により視察ができることになりました。ここのシャンパンは沖縄サミットの時に振舞われたそうです。ワイナリーは、こころみ学園という学校が母体で 1950 年代、机の前での勉強が苦手な少年たちが、鉛筆を鋤(すき)や鋤(くわ)に持ち替えて、山の急斜面を切り開き 600 本のぶどうの苗木を植えました。凍てついた土を掘り起こし、平均斜度 38 度のぶどう畑を、重い堆肥を担いで這い昇りました。1980 年代、この急斜面のぶどう畑の谷間で、たわわに実ったぶどうをつぶしワインづくりが始まりました。秋、一房一房大切に摘み取り、一粒一粒を選び、醸し、ワインを瓶に詰め、ラベルを貼り自然と共に働く日々は、知恵遅れと呼ばれ続けてきた少年たちを、知らず知らずのうちに寡黙な農夫にかえていきました。一年中、空の下。今日もこころみ学園のワイン醸造場、ココ・ファーム・ワイナリーでは、農夫たちがぶどう畑で、醸造場で、一生懸命働いて美味しいワインをつくっています。畑にはカラスなどが来る為、山頂付近と中腹に生徒が常駐し、一日中缶をたたいて追い払っていました。昼食ではおいしいワインを頂きながら食事を済ませました。昼食後工場見学、終了後参加者の皆さんは、売店にてお土産をたくさん買っていたようです。約 2 時間後帰路に就き、車中ではパーティーが開かれ、今までにない盛り上がりとなりました。今回の移動例会を通して、より一層の親睦が深まり今後のロータリー活動に活力がつけました。参加者の皆様、お疲れ様でした。

**幹事報告**

- 1・ガバナー事務所より
  - ・11 月ロータリーレートのお知らせ 1 \$ = 8.2 円
  - ・地区ゴルフ大会登録料一部返金のご案内
  - ・ニュースレター 10 月
  - ・地区大会についてのお知らせとお祝い 受領
- 2・ゆめ半島千葉国体銚子市実行委員会より
  - 第 65 回国民体育大会銚子会場の大会終了の報告と御礼 受領
- 3・例会変更のお知らせ
  - 小見川 RC より 受領

11/3(水) 定款により休会 (祝日・文化の日)  
 11/10(水) 地区大会 11/7(日)に振替の為休会

**卓 話**

「米山月間に因み」

地区米山奨学会委員会 委員長 中村 俊人 氏

銚子東 RC の皆様、こんにちは。私は今年度、米山記念奨学会委員長を務めております、沼南 RC の中村でございます。宜しくお願ひ申し上げます。



この度、米山月間と致しまして、私たち米山記念奨学会委員会へ卓話のご依頼を頂き有難うございます。本日は米山記念奨学生で、麗澤大学大学院修士 2 年の張 舒さんと例会に出席させて頂きました。日頃よりこの記念奨学会事業に御理解頂き、皆様の暖かい寄付金によりまして、米山奨学生の皆さんに奨学金と致しまして支援を出来ます事に地区委員会を代表致しまして心より御礼を申し上げます。私たち委員から奨学生に皆さんの感謝致します気持ちを伝え頂くことよりも、直接支援をして頂いています奨学生からロータリアンの皆様へお伝え頂きたく、貴重な時間を頂きまして卓話としてお話しをして頂きます。

米山奨学会への寄付金と致しましては、各クラブのロータリアンの皆様をお願いをしています、お願い目標と致します金額は、一人当たり平均寄付金額 15,000 円としておりますので、是非今年度に於きましても宜しくご協力の程をお願い申し上げます。今年度より寄付頂いた寄付金に於きましては、今までは特別寄付金だけで御座いました税制上の優遇処置が、普通寄付金とも優遇されるようになりました。ただしもう事務局へガバナー事務所を通じまして奨学会から御案内されていると思いますが、締切りが 10 月末で御座います。今後も是非この制度をご利用頂きまして、寄付金への御協力を御願ひ頂けましたら幸甚で御座います。

また貴重なロータリアンからの奨学金を頂く申し込みに於きましては、指定校から推薦されました優秀な学生の皆さんが、各大学内に於きましても選考され推薦をされています。この学生の皆さんの応募の中で、この米山記念奨学会の奨学生制度は、全国各奨学金制度のある中で最大の特徴と致しましては、御世話を頂けるロータリークラブがあり、必ず奨学生にカウンセラーとしてロータリアンが付いて御世話して頂けるということです。世話クラブの皆さんの温かい歓迎を受け、カウンセラーの親代わりとしての暖かい気持ちをサポートして頂けることは他の奨学金制度にはありません。2010 年度の米山奨学生の採用に関しては 800 人が承認されましたが、この 2790 地区に於きましても今年度新規奨学生 20 名と継続学生 3 名を含め、23 名にロータリアンの貴重な奨学金をお渡ししています。次年度に於きましては 25 名の奨学生が決定致しました。米山奨学生は学業・人物とも優秀で、将来、国際社会で活躍する留学生の支援をしている中で、応募する学生の皆さんへ求められる事は、学業はもちろんの事、異文化の理解とコミュニケーション能力を最も求められます。御世話になるロータリアンの皆様との交流の中からロータリー精神を学び、将来国際社会へ、または、母国に帰ってからそれぞれの

分野で貢献できると判断された方たちです。その為には地区開催の奉仕活動や研修会などへも積極的に参加し、例会への参加などによって、日本の文化を理解するよう努めながら、多くのことを学んでほしいと常々奨学生へお伝えしております。

2010年度に於きましては、“できることから始めよう”のテーマを掲げまして、10月の米山月間時には奨学生共々クラブ訪問し、卓話などを通じてふれあいを持って頂きたいと考えまして、例年のように各クラブに卓話依頼の希望を募り訪問をさせて頂きまして、その中で米山奨学基金へのご理解をして頂き、ロータリアンの皆様に少しでも多く寄付へのご協力をして頂けるよう御願いをしたいと考えております。

また、今年度の8月28日に開催を致しました米山記念奨学会委員会セミナー時に於きましても、日本で奨学生として援助して頂いた学生が、母国へ帰って女性たちへの自立を願って色々な事業をしながら奉仕活動なども含めて活躍している学友の話しと、日本で活躍をしています学友の皆さんが中心となり、東京米山友愛ロータリークラブが創立し、その中心的役割を担っている学友の皆さんの活躍等も含めましてその学友の卓話をして頂き、その努力とサポートして頂いたロータリアンの皆様との交流も含めまして、是非ご参加して頂いたロータリアンの皆さんにお聞き頂き、自クラブへお伝え願えたらと企画を致しました。多くの2790地区85クラブの会長様・米山委員長をはじめ奨学生はもとより、カウンセラーをして頂いているロータリアンの皆様にも参加して頂き、総勢188名の多くの出席を頂きました。銚子東RCからも平野米山委員長様にご出席頂きまして感謝を申し上げます。

日本で米山奨学生として援助して頂いた学友の皆様が活躍していることをお伝えすることができましたら、ロータリーの皆様にも学友の皆様が頑張っている状況もご理解して頂けるのではないかと、そして米山記念奨学事業に対しましても、さらに皆様の御協力を少しでも多く頂ける事を御願い出来たらと考えています。

また今後に於きましても、世話クラブとして御世話頂きました皆様に、第2790地区の学友会の活動を少しでも活性化し、巣立った奨学生の皆様と御世話して頂いたロータリアンの皆様との交流を多くできればと考え、私たち地区委員会の皆さんも含めて努力していく予定でございますので、皆様の御協力を宜しく御願いを致します。

米山奨学生 張 舒 氏

### 1. なぜ日本へ留学しに来たのか

私は中国北京にある中国伝媒大学の日本語学科から卒業しました。卒業した後、日系会社の北京電通広告会社に入りました。約3年間北京電通のトヨタ本部にてトヨタ自動車への広告宣伝にかかわる仕事をしていました。北京電通は中国ナンバーワンの広告会社であり、上司や同僚のなか、日本で数年間の留学経験があった日本語も専門知識も優れている人材をいっぱい集まっています。かれらと比べて、私が大学四年間の日本語勉強を通じて身



に付けた基礎日本語は広告という専門的な分野で仕事をするにはまだ足りないと感じていました。それで、より深刻なのは、自動車業界やマーケティングに関する専門知識もなかなか不足していました。ですから、日本へ留学しに行って大学院に入って企業経営とマーケティングに関する専門知識を勉強しようと思って、北京電通の仕事をやめて、日本への留学を決意しました。

### 2. 日本に来たばかりのとき (2009年1月-3月)

2009年1月私は日本語学校の学生として日本に参りました。最初は文京区大塚駅の近くにある日本語学校の寮に住んでいました。結構古いアパートの3階ではすべて日本に来たばかりの日本語学校の学生が住んでいます。シャワーもトイレもなくそれぞれの5畳の部屋に二人か3人が住んでいました。部屋が狭すぎますので、二段ベッドしか置けません。家賃は文京区の平均水準より安くの6万円で、一人当たりは3万円です。しかし、3万円を人民元で換算すれば、北京の場合は大学新卒の初任給に相当します。私にとって本当に大変でした。そして、日本の高い物価も当時の私にとってショックでした。バーゲンをして100円を超える1個のリングなど、中国の物価の5倍も10倍もあります。その時、カップ麺やおにぎりを食べ、最低限の生活を維持しながら、毎日10数時間の勉強は生活のすべてでした。

### 3. 麗澤大学大学院修士課程に入ってから奨学生になるまで (2009年4月-2010年3月)

2か月の集中勉強のおかげで、大学の入試に合格して4月入学しました。私は文京区から大学の寮へ引っ越ししました。家賃は同じく3万円ですが、環境がすごく良いです。個室でエアコンも付いていますし、シャワー室も整備されています。ようやくより良い環境で新しい学生生活が始まったのに、また新しい問題が出てきました。生活するために、週15時間のバイトをしなければいけません。しかし、学校のほうは、ほぼ毎日3時間の授業に出ることと5、6時間の勉強することを確保しなければ、単位を取得することが不可能でした。つまり、勉強とバイトを両立することが大変でした。けっきょく、毎日の睡眠時間を短縮するしかできません。しかし、ちゃんと睡眠をとれなければ、元気も出せなく、勉強とバイトにも悪い影響を与えています。1年生の去年の1年間、こういう悪循環に陥って毎日を送っていました。

### 4. ロータリー米山記念奨学会の奨学生になってから

大変の生活の状況が変わったのはロータリー米山記念奨学会との出会いでした。今年4月、奨学生になってから、私の生活が一変しました。

まずは経済的な面です。毎月も奨学金をいただいて、経済的な支援をいただいたから、修士論文に集中することができるようになってきました。去年のように深夜までバイトすることをしなくても日本で生活することもできますし、ご飯のほか、毎日リングオレンジなど果物やヨーグルトも買ってバランスの栄養をとることもできます。そして、経済的な支援をいただいただけではなく、いろいろな社会活動に参加するチャンスもいただきました。たとえば、南柏のお祭りや手賀沼の花火大会、柏市の茶道会、光が丘小学校の国際交流授業などいろいろな活動に参加させていただきました。南柏のお祭りで初めて日本の民族舞踊を踊りました。子供よりも下手でしたが、一緒に踊っているみんなのパワーを感じました。手賀沼の花火大会で、世話クラブ

の沼南ロータリークラブのおかげで、招待席で近距離に水上花火も含めたくさんの種類の花火を楽しめました。ロータリークラブの納涼例会に初めて浴衣を着て参加しました。カウンセラーの荻野さんのおかげで、日本女性の美を象徴する浴衣を着せていただき本当にうれしかった。先週光ヶ丘小学校の国際交流の授業に参加して、5年生の生徒たちとふれあって、いろいろな日本と中国の文化や習慣について交流していました。子供たちの活発や積極的に交流に参加する姿勢にすごく感動しました。

こういう一連の奨学生ではないとなかなか経験できないことはすべてロータリークラブのおかげでした。経済的な面であっても、日中友好や国際交流な面であってもロータリークラブがあつての今の私です。

09年1月に私が来日し、もう一年間半に達しました。ほかの日本にきてもう7.8年間が経った同級生や他の留学生と比べて、私の日本にいる時間の短さは確実です。しかし、この一年間半、特にロータリー米山記念奨学会の奨学生になったあとの半年、私の毎日充実して過ごせました。一日に24時間があることは誰でも同じですが、この24時間を豊富多彩に過ごさせれば人生はもっと有意義もって充実になるに違いありません。勉学はもちろん来日の第一目的ですが、日本語学科出身の私にとって、自らで日本人との触れ合いを通じ日本社会、日本文化、日本人の生活をもっと理解することも非常に重要な一環です。日本にいる日々をきちんと活用し、積極的に日本の社会活動に参加し、最大限に日本を体験し理解することができなければ、日中交流や日中友好に貢献することは言えないでしょう。ひいては、ロータリーが提唱する国際交流、親善、奉仕、友好も言えないでしょう。私は奨学生になったからこそ、この半年いろいろな社会活動に参加することができ、豊富多彩な日々を送ることができました。私は奨学生として光栄のほか、ロータリー米山記念奨学会に対する感謝の気持ちをここで申し上げさせていただきます。

**5. 奨学期間終了後について**

将来、帰国後は学友として引き続きロータリーとの絆を結び、学友会活動を通して、ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献しようと思います。そして、中国では今の日本の真面目がまだ分からなく、日本を誤解する人はまだ少なくありません。私のできることは自分自身の体験したこと、理解したことをきちんと伝え、今の斬新な時代の日中友好を推進するように頑張っていきたいと思いません。

最後、もう一度ロータリー米山記念奨学会、ロータリアンの皆様に、お礼を申し上げます。本当にありがとうございます。ご清聴をありがとうございました。

**杉浦武会長**

10月19日、移動例会において貴重な体験、すばらしい視察見学ができました。ありがとうございました。参加者の皆様、お疲れ様でした。

**木村貞夫君**

10月22日、銚子法人会ゴルフコンペがレインボーヒルズで行われ、127名の参加者があり盛況でした。当クラブの会員からも参加と会員企業より賞品提供戴き、参加者全員に賞が当たりました。有難うございました。私は7位でした。

**加瀬武男君・木樽定雄君**

文化祭の書道展に出展しました。

**木樽定雄君**

文化祭に出展した20号のすずきの絵が市長賞となつて、市長室に飾られることになりました。

**狩野勉君**

大学の「自己点検・評価」に対する大学基準協会の外部評価委員による実地視察が25日に無事終了しました。



木樽会員 加瀬会員

**親睦活動・家族委員会 杉山正躬委員長**

**職業奉仕委員会 川津光雄委員長**

10月19日移動例会の成田空港視察、ココ・ファーム・ワイナリー視察には多くの会員のご参加をいただき有難うございました。今後ともご協力宜しくお願い致します。

**前回の例会(10/26)報告**

点 鐘	杉浦 武 会長
出席報告	
会員総数	33 名
出席者	25 名
10月12日	
来訪ロータリアン	
中村俊人君	(沼南RC)
坂本尚史君	(銚子RC)
欠席者	6名
メイクアップ	
平野君	(10/26 八日市場RC・10/27 銚子RC)
スモールコインBOX	小 計 ¥ 2,510-
	累 計 ¥ 32,265-
ニコニコBOX	小 計 ¥ 49,000-
	累 計 ¥ 214,000-

銚子東ロータリー・クラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館内 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789  
メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL http://www.tcs-net.ne.jp/~rc

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室  
会長 杉浦 武 副会長 木村 貞夫 幹事 長谷川 弘  
クラブ広報・会報委員会 吉田 孝至・石上 明宏・大内 恭平・山本 幸男  
表紙題字 網中喜一郎初代会長

R. I 第2790地区

ほととぎす 銚子は国の とっばずれ

古 帳 庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦(古帳庵 古帳女)が銚子に遊んだときに

詠んだもので、この碑は圓福(円福)寺に現存する。